

令和 3 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 崇徳会

1. 施設の概要

社会福祉法人 崇徳会

(I) 高齢者総合ケアセンター マザーアース

所在地 埼玉県ふじみ野市大井621-1

開 設 平成5年8月1日

事業所(定員) 介護老人福祉施設(56名) 短期入所生活介護(14名)

通所介護(25名)

居宅介護支援事業所 高齢者あんしん相談センター

敷地面積 4,430.53m²

建物面積 RC造2階建て 2,377.77m²

職員数 施設長 1名 副施設長 1名 事務員 4名

相談員 2名 看護職 8名 ケアワーカー 39名

介護支援専門員 3名

主任介護支援専門員 2名 社会福祉士 1名

管理栄養士 1名 調理員 10名 施設管理 4名

社会貢献支援員 1名 委託医(非常勤)2名 運転手 2名

(II) 地域密着型特別養護老人ホーム マザーアースサテライト

所在地 埼玉県ふじみ野市大井730-12

開 設 令和3年3月31日

事業所(定員) 地域密着型特別養護老人ホーム29名 ユニット型

職員数 施設長(本体兼務) 1名 副施設長 1名 事務員 1名

相談員(本体兼務) 2名 看護師 2名 ケアワーカー 13名

管理栄養士(本体兼務) 1名 栄養士(本体兼務) 1名 施設管理 1名

(III) 業務内容 心身に障害があるなど介護保険に該当する65歳以上の第一号被保険者

及び40歳以上65歳未満の第二号被保険者(心身に障害があり、その原因となる疾患が特定疾患と認定された者)で、要介護状態と認定された者に対する必要な介護サービスを行う。

2. 沿革

平成5年7月 社会福祉法人 崇徳会 認可 理事長に野溝伊之助就任

7月 特別養護老人ホーム マザーアース 認可 施設長に田貝邦子就任

8月 マザーアース開設

10月 デイサービス開設

- 平成 6年 7月 社会福祉協議会特別会員入会
- 平成 7年 8月 夏祭り開催(近隣住民招待)・家族会の発足
- 平成 8年 8月 三周年記念夏祭り開催(近隣住民・ボランティア等招待)
- 平成 9年 4月 在宅介護支援センター開所
9月 施設長 田貝 邦子 退任
10月 施設長 野溝 守 就任
- 平成10年 8月 開所5周年記念行事
- 平成11年10月 居宅介護支援事業所開設
- 平成12年 4月 介護保険事業による通所介護・短期入所生活介護・訪問介護を開始。
併せて施設名称を社会福祉法人崇徳会 高齢者総合ケアセンター
マザーアースと改める。
- 平成13年 4月 通所介護事業の定員を20名から25名に増員。
10月 申出窓口及び第三者委員の設置
- 平成14年 8月 開設10周年記念行事
9月 埼玉県共同募金会「共同募金受配要望事業」により
送迎リフト車整備
- 平成15年 3月 入所制度の改革により入所検討委員会を設置
4月 短期入所生活介護事業の定員を16名から20名に増員
訪問介護事業を廃止する。
- 平成16年 2月 日本財団「福祉車両助成事業」により送迎リフト車整備
5月 郵政省「社会福祉事業」により特殊機械浴槽チェアインバス整備
- 平成17年10月 大井町・上福岡市が合併によりふじみ野市となる
- 平成18年 4月 介護保険制度の改正により、地域支援事業(介護予防事業)が
制度化される
- 平成19年 3月 在宅介護支援センター閉所
3月 理事長 野溝 伊之助 退任
4月 理事長 野溝 守 就任
4月 地域包括支援センター開所
- 平成20年 3月 開設15周年記念行事 「堀田 力氏」講演
共催 大井町社会福祉協議会(大井町社会福祉協議会歳末福祉事業配分事業)
6月 本田技研労働組合研究所支部よりステップワゴン寄贈
- 平成21年 2月 日本財団「福祉車両助成事業」により送迎リフト車整備
- 平成22年 2月 介護老人福祉施設事業の定員を50名から56名に増員する
短期入所生活介護事業の定員を20名から14名に変更する
- 10月 埼玉県 生活保護世帯の学習支援事業スタート

平成23年3月11日 14時46分 東日本大震災の発生
原発事故の被災者受け入れ

12月 第5回埼玉県高齢者福祉研究大会 分科会にて
「終末の方のデイサービス利用について」の研究発表を行う。

平成24年 6月 介護職員等による喀痰吸引等の実施の体制整備(認定者6名)

平成25年 5月 社会福祉法人として「彩の国あんしんセーフティネット事業」に取り組む
7月 生活保護世帯の就労体験 3名受け入れ
8月30日 「マザーアース 開設20年記念パーティー」 開催

平成26年 2月 「介護の魅力PR隊」へ参加
8月 「平成26年度 県費補助金 大規模修繕工事」 着工
9月 「彩の国あんしんセーフティネット事業」 開始
埼玉県第2ブロック拠点施設となる。
「埼玉県高齢者福祉研究大会」にて
「高齢者施設で定着しない同性介助について」 研究発表を行う。

10月 「ふじみ野市介護支援ボランティア制度」開始
ふじみ野市より受け入れ施設として指定される

平成27年 1月 「平成26年度 県費補助金 大規模修繕工事」 竣工
赤い羽根 平成26年度事業共同募金交付事業による
ナースコールシステム設置

3月 マザーアース ホームページ 開設
「福祉の心を育む交流事業」ふじみ野市教育委員会にて
各学校(東台小、東原小、大井小、大井中)へ学校図書の
購入費を寄付
9月 「埼玉県高齢者福祉研究大会」分科会にて
「介護現場における声掛けについて」研究発表を行う

平成28年 3月 「福祉の心を育む交流事業」にて
各学校(東台小、東原小、大井小、大井中)へ

8月 埼玉県多様な働き方実践企業ゴールド認定

10月 喀痰吸引等の実施の体制整備(認定者2名)

11月 公益財団法人埼玉県産業文化センターと日本フィルハーモニー
交響楽団の共催による「日本フィルハーモニー交響楽団弦楽
四重奏コンサート」の開催

12月 赤い羽根 平成28年度事業共同募金交付事業による
アプローチ舗装工事竣工

12月 「関東郵便局長会」よりおせち料理が寄贈される

- 平成29年 2月 「福祉の心を育くむ交流事業」にて東原小と交流
マザーアースにて演奏会を開催
- 3月 「福祉の心を育くむ交流事業」にて大井中と交流
マザーアースにて音楽部による合唱会を開催
- 3月 「福祉の心を育くむ交流事業」にて
各学校(東台小、東原小、大井小、大井中)へ
学校図書の購入費を寄付
- 4月 「日産プリンス埼玉販売㈱」様より社会貢献活動の一環として
車いす1台寄贈される。
- 6月 公益財団法人JKA主催リングリングプロジェクト・オトレース補助事業
による、特殊浴槽(寝位浴槽)を設置
- 9月 「関東ブロック老人福祉施設研究総会」において
「心地よい居場所づくり」の研究発表を行う
- 9月 「埼玉県介護ロボット普及促進事業」より補助金を頂き、
見守りケアシステム内蔵、低床3モーターベッド3台購入
- 9月 「福祉の心を育む交流事業」にて、東台小学校と交流
5年生を対象に「福祉」についての説明会を開催
- 11月 「福祉の心を育む交流事業」にて
東台小学校児童とマザーアースにて交流会を開催
- 12月 埼玉県高齢者福祉研究大会にて
「レクリエーションの楽しみ方について」の研究発表
作品展のデイサービス利用者様の作品を出品
- 平成30年 2月 「埼玉県介護ロボット普及促進事業」より補助金を頂き、
介護ロボット「ハル」を2台購入(リース)3月29日納品
- 4月 「介護ロボットを活用した腰部負荷軽減プロジェクト」参加
- 8月 広報誌「マザープレス」第1号発行
- 10月 秋祭り開催
- 11月 「マザーアース開設25周年感謝の集い」開催
- 12月 広報誌「マザープレス」第2号発刊
- 12月 HAL腰タイプ好事例対象審査員特別賞受賞
- 平成31年 1月 埼玉県介護人材採用・育成事業者認定制度
ランク3(三つ星)認証
- 2月 彩の国あんしんセーフティーネット事業
社会福祉法人による就労支援事業開始

- 3月 福祉の心を育む交流事業として
東原小音楽クラブと交流を行う
- 令和元年 5月 9日 埼玉県「介護職員合同入職式・表彰式」に5名参加
- 5月11日 川越ロータリークラブと新日本フィル交響楽団協賛による
「母の日コンサート～感謝の気持ちを込めて～」開催
- 10月 1日 ふじみ野市内の社会福祉法人とふじみ野市社会福祉協議会で
つくる共同相談窓口「つながる相談窓口」開設
- 10月 28日 ふじみ野市より地域密着型老人福祉施設(ユニット型)
開発許可を受ける。
- 11月 14日 風の里保育園の園児たちと交流会開催
- 12月 26日 新送迎車購入(日産)
- 12月 27日 大塚食品株式会社よりビタミン炭酸飲料寄贈される。
- 令和 2年 1月 9日 SAITAMAプロジェクトによりセブンイレブンジャパンより
商品の寄贈を受ける。
- 2月 23日 新型コロナウィルスの関係で特養入所者及び短期入所者家族の
面会制限開始。ボランティア受け入れ一時停止。
- 3月 31日 「福祉の心を育む交流事業」として東台小、東原小、
大井小、大井中に学校図書購入費を寄贈する。
- 令和 2年 4月 27日 入所者と家族を結ぶオンライン面会を開始する。
- 7月 22日 地域密着型特別養護老人ホーム 建設のための「地鎮祭」を行う。
- 10月 8日 埼玉県「多様な働き方を実践する企業」ウーマノミクスより
プラチナ認定を受ける。
- 11月 30日 埼玉県高齢福祉職員による
コロナウィルス感染対策の調査を受ける。
NHK他マスコミ11社の取材を受ける。
- 令和 3年 3月 25日 地域密着型特別養護老人ホーム マザーアースサテライト
竣工引渡、祈願祭を執り行う。
- 3月 30日 地域密着型特別養護老人ホーム マザーアースサテライト 開所式
- 3月 31日 地域密着型特別養護老人ホーム マザーアースサテライト
開所 1名入所する。
- 6月 2日 入所者に対し新型コロナワクチン接種を行う。
(6月23日 2回目、令和4年1月19日 3回目接種)
- 7月 29日 埼玉県新型コロナウィルス感染症対策優良施設の認証を受ける。
- 12月 14日 埼玉県介護人材採用・育成事業者認証制度2つ星認証受ける。
- 令和 4年 2月 16日 埼玉県介護人材採用・育成事業者認証制度3つ星認証受ける。

3. ケア報告

【特別養護老人ホーム】

令和3年度は、コロナ禍の状況もあり、ご家族との面会ができない為、少しでもご家族との時間を過ごして頂ける様に、短時間ではあるがオンライン面会を実施した。利用者に個人個人の落ち着ける場所や楽しみと生きがいのある生活を一緒に考え、安全な生活を送っていただけよう検討した。人材育成では新人職員にはチーフセンターを中心に見守りとアドバイスを行った。また、中堅職員の希望を踏まえてOJTを行った。

- (1) 排泄介助では、ひとりひとりに合った方法を検討し、特におむつ内の蒸れと褥瘡を無くすため排泄用品の検討を行い継続し話し合った。
- (2) 褥瘡予防対策委員会では、月1回会議を開き、リスクが高い、又は褥瘡が出来ている利用者の「状態報告と個別の対応」を話し合い、介護課、看護課、栄養課、相談課で連携を図った。また、現場の職員が周知できるよう回覧の徹底をした。
- (3) OJT（施設内研修）では、介護未経験である職員にも理解してもらえるように、パート職員を含め新入職員を中心に「入浴事故防止」、生活の場での「事故防止」、認知症の方への「接遇マナー」「排泄介助」「口腔ケア」「食事介助」「体交枕の當て方」「服薬介助」を行った。その他にも「感染症予防対策」「高齢者虐待防止」「看取り介護」「誤薬事故発生防止」「人権擁護」「身体拘束適正化」などのテーマでOJTを実施し、職員の資質向上を図った。
- (4) 口腔ケアでは毎月、歯科医や歯科衛生士から助言と指導を頂くと同時に計画書を作成して実施した。
- (5) 毎月のお茶会は季節に合った和菓子を提供した。その他、おやつ作りでは、フルーチェ、クリスマスケーキ、おしるこなどを作り提供した。
その他季節を感じていただけるような行事を行った。余暇活動では、アロマオイルを使い上下肢のマッサージや血行の促進効果のある足湯、拘縮や麻痺がある方には可動範囲内でリハビリを兼ねて健やかな時を過ごして頂いた。
- (6) 身体拘束適正化では、介護職員対象の研修を行い、職員の思い、感想・意見など、書面をもって提出してもらった。今後も継続し、全員で身体拘束ゼロに向けて、最大限の努力を行っていくようとする。
- (7) 感染症対策への理解
インフルエンザやノロウィルスなどの感染症は、利用者に感染しなかったことは良かった。また、新型コロナウィルス感染症の流行に伴い、国のガイドラインに従い、感染症対策に努めていたが、利用者に新型コロナウィルス感染者が出てしまい、クラスターが発生してしまった。感染拡大を防ぐために、認定看護師の指導のもとゾーニング・PPE等感染症対策の見直しを行い感染症対策に努めた。再度、クラスターを発生させないためにも、各自が自覚を持ち、手洗い・うがいの徹底・館内消毒・換気等感染対策に努めていく。

- (8) 介護ロボット「HAL」の導入について
やむなく離職せざるを得ない職員で、大きな部分を占める原因の一つが「腰痛」。当施設では、平成30年4月より委員会を立ち上げ、職員の腰への負担軽減等を図ってきた。職員の装着率を上げ、最終目標として利用者への装着を視野に入れ、運動機能の向上を目指していく予定である。
- (9) 施設内で死亡された方が15名。（看取り介護5名）
御家族が主治医から「今後は看取りの介護になります」との話を聞き、職員と共に看取りのためのケアプランを作成した。
「今日という日を大切に過ごされる」ために日課で予定されない生活を重視した。
徐々に衰えていく利用者に合わせて看護、介護、栄養面で配慮しながら、時間を問わず、頻繁に訪問されるご家族には、相談員を中心に気持ちの整理と心の準備について援助した。泊まってついていてあげたいというご家族の気持ちに寄り添い、ご家族も泊まれるよう同じ部屋にベッドも置いた。
看取り介護が終わり、ケアの振り返りを行うカンファレンスでは、納得の出来る介護が出来たかどうか、今後、より良い看取りを提供していくには、どうすれば良いかを常に考えて向上を図った。
「終のすみか」としての役割を果たせるように、更なる精進をしていく。

【デイサービス】

- (1) 生活援助
ご利用者の在宅生活の様子をご家族、ご本人、ケアマネジャーから話を伺い、また連絡帳を通して情報交換を行い、報告・連絡・相談を徹底する事により、安全で快適な生活を提案するよう努めた。
- (2) 日常動作訓練（生活リハビリテーション）
高齢者に多い転倒、誤嚥などのリスクを考え、予防の意識を個々に持っていただけるように声かけを行い、体操やレクリエーションを通して身体機能の維持に努めた。
- (3) 相談
ご利用者から相談がある時は良く話を伺い、必要に応じてご家族・ケアマネジャーとも連絡を図り、安心した生活を送れるように援助した。
- (4) 送迎サービス
ご利用者の身体の状況や介護状況に合わせた送迎を行い、また車酔い等の個々の事情も考え、安全面にも配慮した送迎を行えた。雨天時は特にステップ乗車の際等に、滑らないように注意を払った。
- (5) 入浴サービス
ご利用者、ご家族のほとんどの方はデイサービスでの入浴を希望されている。ご家庭での健康状態、家族、ケアマネジャーからの情報を元に健康チェックを行い無理のない入浴を実施するように努めた。入浴中の事故を防ぐため、

日頃のヒヤリハットを参考にして職員間の声かけ、ご利用者に対しての見守り・声かけなど安全面に配慮するようにした。又「楽しみとしての入浴」を目標に実施した。

(6) 食事

栄養バランスの他、粥食・荒刻み食・極刻み食・ミキサー食・代替食等、できる限りの要望が満たせるよう栄養士と検討し提供した。ご利用者の声を大切に厨房との連携も図った。朝の会で献立を紹介する事で、想像力をかき立てるようにながら、脳の活性化を促した。

(7) 介護サービス

ご家族との状況交換を密にし、各ご利用者のADLに合った介護を提供した。ご利用者に対して画一的な対応でなく、個別の対応も取り入れた。

(8) 介護予防

運動器の現状維持、口腔機能の向上に関するサービスの提供を行い、要支援、要介護状態の改善や重度化の予防に取り組んだ。また、ご利用者ができる限り自立した生活を送れるような支援を心がけた。

(9) 通所介護計画

サービス担当者会議等で、ご利用者の日常生活の状況や希望を確認し、日頃のデイでの様子も考え、居宅サービス計画に沿っての通所介護計画を作成した。半年ごとの見直しを行い御家族、ケアマネジャーに計画内容を理解して頂いた。

(10) 趣味活動

各ご利用者のADL、興味に合ったプログラムを準備し、御利用者の楽しみになるよう提供した。主に紙工作、縫物、編物、色塗り、壁画の共同制作など手指のリハビリにつながるよう御利用者に参加して頂いた。楽しみにつながり、心身の活性になる内容を提供するように努めた。音楽療法、ハンドケアを定期的に行つた。

(11) 行事

四季折々の行事を企画して、季節の移り変わりを感じて頂き、心身の活性へとつなげていった。又「デイサービスを利用して楽しかった」と少しでも感じていただけるようにサービスを提供した。

(12) 職員教育

定期的な研修、意見交換の場（帰りのミーティング）を計画し、日々の業務、利用者へのサービス提供に共通意識をもって取り組んでいけるようにした。今行なっていることが最高とは思わず、いつでも上を目指しながらサービスに勤しむように心掛けた。

【ショートステイ】

(1) 緊急時

ふじみ野市との契約で、緊急受け入れを行なっている。

令和3年度の緊急受入は1件でした。

(2) 利用状況

定員14名の中で、定期的にロングショートステイの方を確保しました。

その他定期利用の方が4名、不定期利用希望の方は、その都度対応しました。

(3) 新型コロナウィルス感染防止対策

定期的に利用されている方には、ご家族、ケアマネジャーと相談し、IN・OUTを少なくする事で、外部との接触を極力少なくできるように、ご家族にもご協力いただきました。新規利用者、ロングショート入所時、医療機関から来られる方にいてはPCR検査に協力して頂き、陰性を確認してから入所して頂きました。

4. 苦情報告

第三者委員の連絡先は、常時廊下の掲示板に貼り出している。第三者委員への連絡を入れる事はなかった。令和3年度の第三者委員会は、新型コロナウィルス感染者急増により感染予防のため、施設内での実施を見合せた。苦情の報告は委員の方へ文書で通知し、ひとつひとつ意見を頂いた。

第三者委員の方からは、「内容は違っても、今までの問題と同じような苦情と感じます。謝罪で済むと思わないで、介護の慣れから初心に戻り、確認、相談、報告を思い出して対応して欲しい」「寄り添える、ゆとりのある介護が出来るように、ご利用者様、ご家族様、あるいは外部の方々が“良い施設、良いスタッフ”と思って頂け、安心してお願いできる施設であるように配慮して頂きたい」との助言を頂いた。

些細な苦情も書類に残し、改善を図ることでサービスの向上を図った。

苦情の内容は、短期入所帰宅時の身支度と忘れ物について、デイサービス送迎車の運転方法、家族への連絡遅れについてだった。

平素事故防止のためヒヤリハット委員会を中心に事故の原因やその背景を検討し、対策を考えているが、生活の場としての「身体拘束に依らない介護」には、リスクが常に伴っている。怪我をさせない責任を果たそうとすると、ご本人の自由を制限する方向にいってしまう。かといって、マンツーマンでは見ていられない現実がある。

今まで通り事故を回避する対策は取るもの、防ぎきれない事故もありうるということを、施設とご家族の問題だけでなく、広く社会の方々にも理解して頂きたい。

「専門職（プロ）だろう」と言われ、怪我をさせないのが当たり前のような考えは、荷が重い。私たちは、どんな障害や問題がある方でもその方にとて、一番良い対応を考えようすることに専門性を感じている。

「いかに事故を起こさないようにするか」も当然大事だが、それ以前に職員間の情報共有やマザーアースの職員である事をひとりひとりが自覚し 対応に当たるようにならなければならないと感じた。当施設のような「生と死」が隣り合わせの環境の場合、ご家族が感情的になるケースがある事に鑑みて、思いを受け止めていけるようにしていかなければならない。

第三者委員の方々には、苦情対応の難しさや当施設での真摯な対応を理解していただけ、今後の改善についてはより一層努力するように助言をいただいた。

5. 安全衛生委員会

- ①安全面・衛生面に問題がないか施設内の定期巡回・点検を行った。
- ②産業医による環境のチェックを行った。
- ③職員の心の健康について
 - ・職員の精神的な問題について相談・受診などのサポートを行った。
- ④感染症対策について
 - ・手洗いうがいの徹底、個々の健康管理に関する呼びかけ・ポスター掲示を行った。
 - ・利用者のご家族にも、面会（オンライン面会含む）の際、検温、手洗い、うがいの呼びかけを行い、館内に病原体を持ち込まないようにした。
 - ・インフルエンザの流行時期及び新型コロナウィルスの流行に伴い、来訪者の体温測定を行い、感染防止に努めた。
 - ・新型コロナウィルスの世界的まん延に伴い、利用者・職員・施設内環境における感染予防対策の周知、体調不良者の経過確認、記録を行った。
- ⑤健康診断を基にD・E判定の職員へ受診等を促した。

6. 特別養護老人ホーム

(1) 入所の状況

①保険者別(R4.3.31現在)

保険者	男	女	計
ふじみ野市	4	36	40
富士見市	0	1	1
三芳町	2	3	5
川越市	1	3	4
鶴ヶ島市	1	0	1
越生町	1	0	1
世田谷区	0	1	1
練馬区	1	0	1
目黒区	0	1	1

②年齢構成(R4.3.31現在)

区分	男	女	計	割合
65歳未満	0	1	1	1.8%
65～69歳	0	0	0	0%
70～79歳	5	5	10	20.0%
80～89歳	4	20	24	44%
90～99歳	1	16	17	30.9%
100歳以上	0	2	2	3.6%

③平均年齢(R3.3.31現在)

(才)

	最高年齢	最低年齢	平均
男性	91	70	81
女性	101	61	88

男女平均 (86)

④平均介護度の推移(R3.4.1～R4.3.31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均介護度	4.00	4.01	4.01	4.01	4.01	4.05	4.08	4.08	4.08	4.10	4.15	4.08

⑤要介護度入所者構成(R4.3.31現在) 平均介護度 4.09

要介護1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
0	0	11	28	16	55

(2)月別入退所者数

	前月末人員	本月入所者	本月退所者	本月末人員	
4月	55	3	2	56	入所者
5月	56	1	3	54	男性 4名
6月	54	2	1	55	女性 12名
7月	55	1	1	55	
8月	55	2	1	56	退所者
9月	56	2	2	56	男性 8名
10月	56	0	0	56	女性 8名
11月	56	0	0	56	
12月	56	2	2	56	*退所理由
1月	56	0	0	56	施設内死去→12名
2月	56	2	3	55	病院内死去→3名
3月	55	1	1	55	入院継続→1名
合計	666	16	16	666	他施設移転→0名

令和3年度は、入所者 男性4名 女性12名 計16名

退所者は、男性8名 女性8名 計16名

退所の理由については、施設内で死去された方12名、その内ご家族や嘱託医の協力を得て、

安らかなターミナルを迎えた方が5名。

その他、入院中死去3名、入院継続1名、施設移転及び在宅復帰での退所の方はいなかった。

(3) 行事実施状況

① 年間行事実施状況

月	日	行 事 名
4月	上旬	お花見
5月	10	母の日
6月	13	父の日
7月	7	七夕
8月	8	花火
9月	19	敬老会
10月	23	秋まつり
11月	20	やきいも
12月	19・25	クリスマス会
1月	1	お正月
2月	3	豆まき
3月	3	ひなまつり

※「福祉の心を育む事業」では、近隣の小中学校を対象として交流を行い、施設は学校図書を寄付する流れを社会福祉協議会と一緒に協力しながら、世代間交流を深めていますが、令和3年度は新型コロナウィルス感染症の感染防止のため交流ができませんでした。

② 週間のケア

	AM				PM		
	特 A	特 B	ショート	入浴	特 A	特 B	ショート
月	※	※	遊ビリ 脳トレ・色ぬり	Aグループ	口腔アセスメント	包布交換	居室清掃 レクリエーション
火	※	※	※	Bグループ	居室水モップ	口腔アセスメント 居室水モップ	居室清掃 レクリエーション
水	※	※	※	Cグループ	ミーティング	ミーティング	居室清掃 レクリエーション
木	※	※	※	Aグループ	トイレ清掃	トイレ清掃	居室清掃 ミーティング レクリエーション
金	美容	美容	美容	Bグループ	回診 居室水モップ	回診 居室水モップ 遊ビリ	回診 居室清掃 レクリエーション
土	浴室清掃	※	浴室清掃	Cグループ	環境整備	環境整備	環境整備
日	環境整備	環境整備	環境整備	希望者	足浴 ケアプラン記録 車椅子清掃	足浴 ケアプラン記録 車椅子清掃	ケアプラン記録 カラオケ喫茶 トイレ清掃 車椅子清掃空気入れ

※ 毎日の業務

- ・入浴 利用者あたり 週二日 実施
- ・シーツ交換 利用者あたり 週一日 実施
- ・水分補給 毎日、午前、午後に実施
- ・部分清拭、眼脂清拭 2階フロア毎日実施
- ・口腔ケア 每日実施 アセスメント週一回
- ・髭剃り、整容 火曜、金曜、日曜
- ・食堂清掃
- ・コミュニケーション

ショートステイ業務

ショート利用者の入退所業務
送迎、荷物整理、ベッドメイキングなど

③月間・年間実施表

月 間 実 施 表

- ・体重測定・懇話会・精神科・コーヒータイム
- ・ナースコールチェック・お茶会

- ・職員会議・リーダー会議・各部署会議
- ・特養会議・給食会議
- ・ホーム内研修・検便
- ・身体的拘束適正化委員会
- ・褥瘡予防対策委員会
- ・感染症予防対策委員会
- ・ヒヤリハット委員会

年 間 実 施 表

利 用 者 健 康 診 断
職 員 健 康 診 斷
外 部 研 修(OFF-JT)
施 設 内 研 修(OJT)

(4) 面会者状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
面会者数	25	26	20	29	22	34	25	直 5 オンライン 16	直 20 オンライン 5	15	9	10

年間合計(延べ) 261人

月平均 21人

※「直」→直接面会

令和3年度の面会は、コロナ禍の為オンラインにて対応した。

(感染者が減少した令和3年11月末から12月は一部直接面会を実施)

(5) 外出状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日

令和3年度は、新型コロナウィルス感染予防のため、施設行事としての外出は実施しなかった。外出については、受診など必要不可欠と判断したときのみ実施。その為、マザーアースの南庭でカフェの開催や気候が良い日に散歩をおこない、外気に触れる機会を設けた。

7. 在宅支援について

(1) 短期入所生活介護現況

①保険者別(R3.4.1～R4.3.31)

保険者	男	女	合計
ふじみ野市	10	20	30
富士見市	0	0	0
川越市	0	1	1
鶴ヶ島市	1	0	1
目黒区	0	1	1
合計	11	22	33

②年齢構成(R3.4.1～R4.3.31)

区分	男	女	計	割合
40～70歳未満	0	1	1	2.9%
70～80歳未満	4	4	8	23.5%
80～90歳未満	7	9	16	47.1%
90～100歳未満	0	9	9	26.4%
100歳以上	0	0	0	0.0%
合計	11	23	34	100%

③平均年齢(R3.4.1～R4.3.31)

(才)

	最高年齢	最低年齢	平均
男性	88	70	80
女性	98	68	86

男女平均 (84)

④平均介護度の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均介護度	3.1	3.0	3.3	2.9	3.1	3.3	3.0	2.8	3.0	2.7	3.0	3.3

⑤要介護度別構成(R3.4.1～R4.3.31)

要支援2	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
1	5	4	13	8	5	36

(2)令和3年度 短期入所 報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	13	8	10	11	13	12	12	13	15	13	13	6	139
延べ人数	215	190	195	218	199	211	202	262	292	205	173	142	2,504
平均利用日数	16.5	23.8	19.5	19.8	15.3	17.6	16.8	20.2	19.5	15.8	13.3	23.7	18.0

(月平均 実人員 11.6 月平均 208.7)

(3)年間通所介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人員	29	24	23	22	21	22	22	23	24	24	24	22	280
延べ人数	327	297	286	284	284	296	290	293	278	289	166	44	3,134
介護予防 実人員	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
介護予防 延べ人数	15	11	9	9	8	8	8	7	5	4	3	2	89
1日平均(日中)	15.5	14.6	13.4	13.3	13.2	13.8	14.1	13.6	13.4	14.6	14.0	11.5	12.9

(4) 通所介護現況(R4.3.31現在)

①保険者別

保険者	男	女	合計
ふじみ野市	5	28	33
富士見市	0	1	1
三芳町	0	0	0
徳島市	0	1	1
合計	5	30	35

②年齢構成

区分	男	女	計	割合
40~70歳未満	0	0	0	0%
70~80歳未満	2	2	4	11.1%
80~90歳未満	2	11	13	36.1%
90~100歳未満	0	18	19	52.7%
100歳以上	0	0	0	0
合計	4	31	35	100%

③平均年齢

	最高年齢	最低年齢	平均
男性	86	73	79
女性	96	74	89

全体 88歳

④要介護度別構成

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0	1	8	7	10	8	0	34

(5)通所介護報告書(R3.4月～R4.3月)

①利用延べ人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	342	308	295	293	292	304	298	300	283	293	169	46
利用日数	22	21	22	22	22	22	21	22	21	20	12	4
平均利用者数	15.5	14.6	13.4	13.3	13.2	13.8	14.1	13.6	13.4	14.6	14.0	11.5

②介護度別利用者実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
要介護 1	11	11	10	10	8	8	8	8	8	8	8	5
要介護 2	6	5	5	6	6	7	7	7	6	6	6	5
要介護 3	4	3	3	3	5	5	5	6	8	8	8	7
要介護 4	7	5	5	3	2	2	2	2	2	2	2	2
要介護 5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	31	26	24	23	22	23	23	24	25	25	25	20

③新規利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
マザー	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
おおい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3

※マザーは「マザー居宅」、おおい「包括おおい」、他は「他事業所」

④退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	6
老健	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
他施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マザー	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
サテライト	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
他界	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※他施設⇒他のデイ・デイケア・ショート等 マザー⇒ショート・入所 他⇒転居など

※他の施設にいかれた理由⇒リハビリがしたい(他のデイケア)・その他施設に入所したい(グループホームのデイ)

マザーの回数が増やせない(他のデイ)・送迎が難しくなった(他のロングショート)

⑤平均介護度…2.3

⑦一日平均…15.2人 月平均…268人

(昨年度 一日平均17.4人 月平均 374人)

(6) 通所介護年間行事

4月	おやつ作り（いちご大福パン 4／13）
5月	母の日行事（5／7）
	端午の節句行事（5／5）
6月	父の日行事（6／18）
7月	七夕行事（7／8）
	おやつ作り（じゃがいもの練り切り 7／15）
8月	夏祭り（8／17・18）
	おやつ作り（水ようかん 8／23）
9月	敬老会（9／20）
	おやつ作り（抹茶ババロア 9／16）
10月	運動会（10／25）
	おやつ作り（パンプキンパイ 10／13）
11月	ケーキバイキング（11／22）
12月	クリスマス会（12／23・24）
	おやつ作り（クレープ 12／7）
1月	おやつ作り（門松ケーキ 1／10）
2月	節分行事（2／3）

- ・行事の様子がご家族にわかるよう、写真を撮り配布した。
- ・行事やおやつ作りは、季節感を味わえるよう意識しながら取り組んだ。
- ・誕生日会のプレゼントは、職員手作りの物を全員にお渡しした。
- ・来年度も利用者様に楽しんで頂き、笑顔が溢れるようなデイサービスを目指し、新たなレクや体操を増やしていきたい。
- ・音楽療法、ハンドケアにも力を入れていきたい。
- ・自立支援の一環として、下膳等を利用者様が出来るようにしていく。

8. 施設内事故報告

令和2年度	令和3年度
・ヒヤリはっと 46件	→ 58件
・事故 114件	→ 96件

※委員会会議は月に2回、14時30分から開催

※月末の最終月曜日に当月の事故・ヒヤリはっとの報告と対応策の検討

※2週間後の月曜日にフィードバックとして、検討した対応策の実施結果

報告と再検討を行う。

令和3年度の集計

事故 :	96件	骨折（疑い含む）	3件
		頭部外傷	1件
ヒヤリはっと :			58件

※今後の課題

- 会議の参加
- ・担当委員が会議に出席できるよう配慮する。
 - ・委員が報告書を確認し、会議に臨むような体制づくりが必要。

- 記録
- ・報告書の記入はできているので、状況がわかるような内容で簡潔化を目指す。
 - ・ケアカルテを活用していくよう、検討を重ねる。

- 危機管理
- ・事故やヒヤリはっとが起きてしまったときは、出来るだけ早いうちに当部署で状況を把握し、対応策を検討する。
 - ・当部署以外にも書面（3部署）や報告にて情報を共有する。
 - ・委員会会議において討議された内容を回覧して、職員ひとりひとりが危機の意識を高める。
 - ・利用者の状態によっては、施設全体で取り組むこともあり日頃より連携を図り、協力できる体制をとっていく。

(1) 令和3年度事故・ヒヤリハット件数報告

(件)

	ヒヤリハット	事 故		ヒヤリハット	事 故
4月	2	10	10月	7	7
5月	5	7	11月	11	5
6月	5	7	12月	6	7
7月	6	11	1月	4	8
8月	5	5	2月	4	9
9月	9	8	3月	2	9

(2) 事故発生場所 時間

	17:31～0:00 準夜勤	0:01～9:00 深夜勤	9:01～12:00 午前中	12:01～17:30 午後	計
玄関					0
デイルーム					0
中庭					0
南庭					0
お風呂			6		6
ベランダ					0
1階	居室	4	7	1	13
	廊下	2	2	1	7
	談話室	1	2		3
	トイレ		1	3	5
	食堂		2		1
	その他		汚物処理室2		2
2階	居室	7	7	4	21
	廊下	6	3		6
	トイレ			1	4
	食堂	2	1	3	7
	その他				0
計	22	27	19	28	96

(3)ヒヤリハット発生場所 時間

	17:31～0:00 準夜勤	0:01～9:00 深夜勤	9:01～12:00 午前中	12:01～17:30 午後	計
玄関	3			1	4
中庭		1			1
南庭			1		1
お風呂			3		3
ベランダ					0
1階	居室	4		1	4
	廊下	1	4		3
	談話室			1	1
	トイレ			1	1
	食堂	1			1
2階	居室	3	2	1	6
	廊下	4	2	1	3
	トイレ	1	1		2
	食堂		1	1	3
	その他	1	中庭側外通路		1
デイルーム					0
計	18	11	10	19	58

9. ボランティア受け入れ状況

令和3年度はコロナウィルス感染予防のため、ほとんどのボランティアの受入を断念した。

ボランティア活動状況

ちぎり絵ボランティア	毎週水曜日	見合わせ中
地域ボランティア	毎週木曜日	見合わせ中
習字ボランティア	隔週金曜日	見合わせ中
3B体操	第一月曜日 第四火曜日	見合わせ中
美容ボランティア	最終週を除く金曜日 (緊急事態宣言時は中止していました。)	1名
介護相談員	月2回	見合わせ中
クラリネット演奏	月1回	見合わせ中
傾聴ボランティア	月2~3回	見合わせ中
生け花	月2回 (利用者の参加はありませんでした。 (緊急事態宣言時は中止していました。))	1名
将棋ボランティア	毎週月・木曜日	見合わせ中
音楽ボランティア	第2木曜日	見合わせ中
園芸ボランティア	週1~2日	1名
レクリエーションボランティア	第3火曜日 (職員が自分の休日にボランティアにて実施。)	1名

- 学校関係・地域への協力・・・東原小学校・東台小学校
大井小学校・大井中学校・三芳中学校
三芳東中学校

小中学校に対する福祉の心を育む交流事業は、生徒と利用者の交流は出来なかったが、学校図書寄贈は実施した。

※傾聴ボランティア（むすび）とは・・・

利用者の方の傾聴を必要とする人のお話を耳を傾け、その気持ちに寄り添うことで心や身体の健康を増進。利用者が安心して過ごせるよう、活動して頂いている。

※介護相談員とは・・・

市町村が「事業の実施にふさわしい人格と熱意をもっていると認めた人で、一定水準以上の養成研修を受けた人」と定められている。

介護相談員は、まず利用者から苦情や不満等をよく聞いたのち、本人への助言や法人側と意見交換を重ねて問題のありかを提示し、サービスの質の改善につながる提案をする。また、行政機関の関与が必要な場合は市町村の事務局を通じて適切な対応策をとる。介護相談員は、サービス利用者・サービス提供者・行政機関の橋渡し役となっている。

10. 実習の受け入れ

新型コロナウィルスの関係で、実習依頼はなかった。

11. 生活保護世帯の子供への教育支援

月・水曜日の 18:00～20:00 を学習時間として、中・高生（主に生活保護家庭）の教育支援の場として居宅・包括事業所建物ホールを提供した。支援員、ボランティアの参加も含め一日 28 人程の出席があった。それぞれに希望の進学先に進むことが出来た。

学習の他、クリスマスや年度末の集まりにはお菓子等の差し入れを行い喜んでいただいた。相互の信頼関係が構築できた。

12. 職員研修

(1) 外部研修 (職員の資質向上を図るため、施設外の研修に参加した)

5月	17日	おおい圏域第2層協議体勉強会	1名
6月	1日	介護施設における安全対策担当者養成研修	1名
	1日	彩の国あんしんセーフティネット事業	
	15日	担当相談員養成研修	3名
	30日	第1回介護支援専門員研修	1名
		感染予防基礎研修	3名
7月	6日	栄養士・調理員研修会①	1名
	13日	接遇研修	1名
	13日	第1回社会貢献活動推進連絡会議	3名
	31日	第56回関東ブロック老人福祉施設研究会	1名
8月	10日	彩の国あんしんセーフティ事業	
		第1回ブロック会議・研修	2名
9月	9日	多職種チームケア研修会	1名
10月	5日	福祉サービス苦情セミナー	3名
	18日	介護職員研修会	1名
	19日	医療と介護連携の会 多職種研修会	1名
	21日	医療・介護・福祉の連携に関する研修会	1名
	26日	相談員研修会	3名
11月	2日	介護職員のための医療・薬の基礎知識研修	1名
	15日	栄養士・調理員研修②	1名
	19日	生活保護制度入門研修	1名
12月	1日	福祉現場で必要な法律の基礎知識研修	1名
	10日	ハラスマント研修	1名
1月	14日	個人情報保護研修	3名
	18日	第2回社会貢献活動推進連絡会議	1名
2月	18日	研修委員会・部会合同研修会	3名
	21日	選べる福祉職員組織力向上研修	1名
	22日	感染症対策応用研修	1名
3月	4日	第2回彩の国あんしんセーフティネット事業	
		担当相談員専門研修	4名
	10日	21世紀委員会 研修会 KAIGO義塾	1名
	16日	埼玉県老人福祉施設協議会 オンライン研修会	1名
	18日	第2回介護事業所連絡会	1名
	23日	二市一町高齢者虐待防止ネットワーク会議	4名

(2) 施設内研修(OJT)

4月	28日	高齢者虐待防止のために I
5月		
	26日	前年度のヒヤリハット・事故報告書のまとめ(振り返り)
	26日	誤薬を防ぐには I
6月	30日	感染症対策について I 食中毒予防
	30日	感染症対策について I 帯状疱疹について
7月	10日	入浴事故防止のために I 浴室にて
	13日	統合失調症について
	28日	看取り介護について I
	28日	身体拘束の廃止のために I
8月	25日	褥瘡予防について I
10月	10日	褥瘡予防研修(体交枕の当て方、ポジショニング)
	18日	入浴事故防止の為に II 浴室にて
	27日	感染症対策について II 栄養課
	27日	感染症対策について II 看護課
	27日	口腔ケアに関する研修
	31日	褥瘡予防研修(体交枕の当て方、ポジショニング)
11月	10日	褥瘡予防研修(体交枕の当て方、ポジショニング)
	24日	事故発生防止のために II
	25日	身体拘束の廃止のために II
	25日	服薬誤薬事故発生の防止について II
12月	23日	褥瘡予防について II
1月	25日	高齢者虐待防止・身体拘束について
	26日	看取り介護について(振り返り)
3月	30日	人権擁護について
	30日	苦情について 令和3年度のまとめ

13.健康管理

(1)健康管理処置状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	備考
検温	1,579	1,622	1,594	1,679	1,697	1,640	1,736	1,680	1,710	1,730	1,550	1,672	19,889	
血圧測定	448	490	441	496	478	484	511	597	535	517	368	434	5,799	
体重測定	55	52	52	55	55	55	57	58	56	55	56	55	661	
心臓貼布剤	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
湿布貼布	2	0	8	13	10	22	29	52	53	36	28	46	299	
常時投薬	1,464	1,559	1,523	1,622	1,665	1,606	1,705	1,650	1,665	1,668	1,522	1,641	19,290	
臨時投薬	228	192	209	200	205	181	204	228	216	233	264	227	2,587	
軟膏塗布	199	206	182	197	232	219	279	318	308	314	201	212	2,867	
レシカル	4	0	3	4	2	9	9	9	13	6	5	4	68	
浣腸	3	0	4	3	1	1	3	3	9	5	0	2	34	
摘便	3	3	2	3	2	0	9	20	28	17	14	11	112	
点眼薬	180	186	180	186	188	210	200	210	189	186	168	186	2,269	
外科的処置	40	72	70	50	15	53	50	74	84	124	57	62	751	
点滴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
酸素吸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	19	
吸引	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	13	2	16	
注射	0	0	108 コロナ	0	0	0	1 コロナ	57 コロナ・インフル	0	53 コロナ	0	0	219	
針・灸・マッサージ	9	7	9	8	8	8	9	8	8	7	4	11	96	
臨時処方箋あり	35	8	9	0	0	0	17	19	30	7	5	15	145	
ショートステイ	167	148	185	169	150	161	183	244	274	186	154	135	2,156	
入院	32	60	30	16	34	43	0	0	25	6	0	33	279	

(2) 通院・入院状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消化器外科	(男)												
	(女)						1						
耳鼻科	(男)												
	(女)												
外 科	(男)												
	(女)												
内 科	(男)											1	1
	(女)	1	2		1	1	1			1			
泌尿器科	(男)												
	(女)												
整 形	(男)												
	(女)		1							1	1		
皮膚科	(男)												
	(女)												1
歯 科	(男)												
	(女)												
脳外科	(男)												
	(女)			2									
眼 科	(男)												
	(女)												
精神科	(男)					1							
	(女)	1		1	1								
入 院	(男)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1
月末現在	(女)	2	3	1	2	1	2	0	0	1	1	0	1

(3) 令和3年度 常食給与栄養摂取量

	エネルギー (Kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミンA (μgRE)	ビタミンB1 (mg)	ビタミンB2 (mg)	ビタミンC (mg)
マザーアース における 1人1日当りの 栄養必要量	1327	56	37	600	10	600	1.1	1.1	100
4月	1540	66	37	578	10.1	1003	2.22	1.11	125
5月	1535	65	38	586	10.0	1014	2.22	1.11	124
6月	1539	66	37	581	10.2	1008	2.23	1.12	125
7月	1541	66	37	581	10.1	1004	2.22	1.12	124
8月	1539	66	37	584	10.2	1008	2.22	1.11	125
9月	1535	66	37	584	10.1	1012	1.72	1.09	125
10月	1538	66	37	600	12.2	1020	1.92	1.13	125
11月	1515	65	38	581	10.0	1007	2.22	1.11	124
12月	1538	66	37	578	10.2	1004	2.23	1.11	125
1月	1532	65	38	570	11.9	1006	1.92	1.09	123
2月	1538	66	37	576	12.1	996	1.93	1.14	124
3月	1542	67	37	585	12.4	1003	1.93	1.12	126
年間平均	1536	66	37	582	10.8	1007	2.08	1.11	125

(4)令和3度 行事食 実施記録

月 日	行事名	
5月5日	端午の節句	・赤飯・天麩羅(えび、かぼちゃ、タラの芽、茄子)・ブロッコリーゼリー寄せ・ヨーグルトソースかけ ・清汁(卵、三つ葉)・おやつ(抹茶ゼリー)
7月7日	七夕	・七夕そうめん・天婦羅(キス、しし唐、しめじ)・冬瓜のそぼろあんかけ ・果物(メロン)・おやつ(七夕羊羹)
7月21日	土用の丑	・うなぎごはん・冬瓜のカニ風味あんかけ・清汁(花麩、みつば) ・果物(スイカ)
8月31日	マザーアース 設立記念日	・オムライスデミグラスソース・サーモンのマリネ・コンソメスープ ・メロン
9月16日	敬老の日	・赤飯栗添え・お口取り(サーモン、宝玉寄せ、紫花豆)・天婦羅 ・煮物盛り合わせ・清汁(卵、三つ葉)・果物(メロン、巨峰)・おやつ(練り切り)
10月1日	十五夜	・鮭の月見蒸し・きのこと白菜の炒め煮・みそ汁(南瓜、玉ねぎ) ・おやつ(月見まんじゅう)
11月3日	文化の日	・菊花寿司・れんこんの揚げおろし煮・春菊のごま和え・清汁(卵、万能ネギ) ・果物(柿)
12月21日	冬至	ごはん・さけの柚香漬け・南瓜のいとこ煮・みそ汁(豆腐、玉ネギ) ・マンゴー
12月25日	クリスマス	・人参ピラフ・ビーフシチュー・キャベツのドレッシングかけ・トマトスープ ・フルーツゼリー寄せ・おやつ(ショートケーキ)・ミキサー食はプリン
1月1日	お正月	・おせち料理(一の重:金目鯛の西京漬け・数の子・栗きんとん・伊達巻・黒花豆・酢とり生姜) (二の重:煮しめ・紅白なます)・赤飯・清汁(寿かまぼこ、三つ葉、柚子) ・果物(苺/ミルクかけ)・甘酒
1月7日	七草粥	・七草かゆ(小松菜・大根・人参・椎茸・鶏肉・卵)・うずら豆佃煮・白菜の甘酢和え
1月11日	鏡開き	・おやつにお汁粉
2月3日	節分	・豆ご飯・かじきのみぞ漬け・春菊の中華風和え・いわしのつみれ汁 ・果物(苺)・おやつ(甘納豆)
3月3日	雛祭り	コロナの為、おじや食提供しました。 おやつに桜餅のみ提供。

(5) 令和3年度反省点 栄養課

○利用者の身体・精神状態、食習慣に考慮した食事の提供

- ・嗜好調査を実施し、利用者の嗜好の把握に努めた。
- ・残食量を確認し、原因を考え、改善できるよう動いた。
- ・栄養管理会議の議事録を栄養課職員全体で把握し、食事変更の経緯を知り誤配膳を起こさないように努めた。

○他部署との連携

- ・月一回栄養管理会議を開催し、利用者に合った食事を提供できるよう他部署と意見交換を行った。
また、給食管理会議も同時に行うことで、行事食・選択食の説明や、新メニューに関しての利用者の反応、より良い食事の提供方法などを話し合う機会とすることができた。

○職員の質の向上

- ・給食管理日誌と検食簿に書かれている内容を確認し、栄養課会議の議題に上げることで問題点と解決策の共有ができた。
- ・厨房内の誰が行うか明確でない仕事を割り出し、当番で割り振ることで全員が同じ作業が出来るように努めた。
- ・当番ごとの作業工程表を作り、何時までに何を行うかを明確にすることで、調理員全員の作業のスピードアップを目指したが、年齢や経験年数の差によって、仕事量を統一することはできなかった。
- ・サテライト専用・マザー利用者用・その他用と3つの連絡ノートを新たに作り、読んだらサインすることで、小さな出来事でも全員で共有できるように努めた。

○調理技術の向上

- ・行事食や頻度の低いメニューに関して実際に調理した者が手順書を作り、次の作業がスムーズに行えるよう務めた。
- ・職員同士でよくできたものを参考にし、共有することができた。

○衛生・安全面

- ・消毒・殺菌を徹底し、利用者に食中毒・感染した方が出ることなく衛生管理ができた。
- ・爪ブラシ・アルコール消毒・うがいの習慣づけができた。
- ・調理器具・食材の扱いに注意を払い異物混入を防いだ。

○栄養ケアマネジメント

- ・ケアカルテに食事変更内容を記録したり、介護記録を読むことで、利用者の様子の変化に気づきやすくなり、食事変更の提案につなげることが出来た。

○サテライト

- ・食材の発注から搬入まで、安定して行えるようになった。
- ・敬老会、正月等大きな行事が重なった際、マザーアースの厨房に影響を与えることなく、職員をサテライトへ派遣することが出来た。しかし3年度は、2ユニット体制だったので、満床になれば時間内の提供が厳しくなると思われる所以、注意していきたい。

14. 居宅介護支援事業所

(1) ケアプラン関係

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
新規受付	1	4	2	2	5	1	4	1	0	6	3	8	37	3
実施件数	95	84	89	85	86	90	87	87	87	86	89	89	1054	88

※小数点以下四捨五入

(2) サービス利用状況(実人数)

通所介護	55	46	46	43	44	46	48	50	52	49	49	48	576	48
訪問介護	13	11	12	10	12	13	13	13	13	14	14	15	153	13
短期入所生活介護	15	5	10	9	13	13	10	10	8	6	6	4	109	9
短期入所療養介護	0	1	2	3	3	3	1	1	1	1	0	0	16	1
福祉用具貸与	52	45	48	46	45	48	48	44	46	48	53	54	577	48
訪問看護	18	17	20	18	15	16	16	16	16	18	19	19	208	17
通所リハビリ	17	15	17	15	12	11	15	12	13	14	12	13	166	14
訪問リハビリ	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	3	3	20	2
訪問入浴	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	63	5
地域密着通所介護	11	9	9	9	8	9	9	8	9	11	10	9	111	9
複合型サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	189	157	172	159	158	165	166	160	164	168	171	170	1999	167
利用事業所数	51	52	54	50	51	53	53	53	53	57	53	53	633	53

※小数点以下四捨五入

(3) 申請代行

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険 (区変・更新)	6	3	3	3	1	2	3	3	3	3	3	2	35
住宅改修	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	1	2	7
福祉用具購入	2	0	1	1	0	1	0	2	0	1	0	0	8
計	8	3	5	5	1	3	3	5	3	6	4	4	50

・令和3年度 年度代わりに人員配置転換があり、管理者・職員の変更があった。

新体制での営業では、事業所内の協力の他、他部署からの支援もあり何とか通常通りに行えた。

法人内の協力体制に感謝しています。

また、今年1月からは新入職員と退職者の引継ぎがあった。

現在の居宅介護支援事業所はまだ成熟した営業体制とは言えない。

今後も事業所内・法人内での連携を深め、月95件のケアプランを目指していく。

15.地域包括支援センターおおい

(包括的支援事業実施業務実績報告書) 令和3年度

1 相談

○相談件数 (単位:件)	時間内	時間外
①来 所	144	3
②電 話	2,929	39
③訪 問	656	0
④その他	37	0
合 計	3,766	42

※その他とは、電子メール・FAX等の場合。

○相談者の区分 (単位:件)

①本 人	1,015
②家族・親族	1,255
③介護支援専門員	387
④介護サービス事業所職員	815
⑤行政関係者	321
⑥関係機関	418
⑦民生委員	53
⑧近隣・知人	36
合 計	4,300

※複数可

○相談内容 ※複数可 (単位:件)

①介護相談 ★	165
②介護保険 ★	1,630
③介護予防・生活支援サービス★	662
④上記③以外の地域支援事業	48
⑤保健・医療★	526
⑥福祉	114
⑦認知症★	99
⑧権利擁護★	19
⑨安否確認	12
⑩介護者の離職者防止★	4
⑪生活面	250
⑫家族	43
⑬金銭面	44
⑭住居	38
⑮近所・地域	5
⑯その他	58
合 計	3,717

○介護予防対象者把握事業委託(単位:件)

(はつらつ健康チェック調査より)

作成件数
0

※利用者基本情報を提出すること

○介護予防事業支援表作成件数(単位:件)

介護予防サービス計画費作成件数
0

※利用者基本情報を提出すること

介護予防ケアマネジメント費作成件数(単位:件)

A-要支援 1	148
A-要支援 2	328
A-事業対象者	145
B-要支援 1	0
B-要支援 2	0
B-事業対象者	0
C-要支援 1	0
C-要支援 2	0
C-事業対象者	0

※利用者基本情報を提出すること

2 権利擁護業務

○相談件数 (単位:件)	新規	継続
成年後見制度(再掲)	3	1
消費者被害(再掲)	2	0
困難事例(再掲)	5	6
虐待対応	①相談件数(再掲)	2
	②訪問件数(再掲)	0
	③立入につなげた件数	0
	④やむを得ない措置での入所及び養護老人ホームでの入所に至った件数	0

○内容(虐待) (単位:件)

虐待	身体的虐待	2
	経済的虐待	0
	心理的虐待	0
	性的虐待	0
	介護放棄	0
合 計		2

※複数可

3 ネットワーク構築(包括主催)

(単位:回)		
①地域連携に係る会議	0	
②多職種連携に係る会議	4	
③ケアマネ支援に係る研修等	7	
④担当者会議	0	
⑤出前講座実施	8	
⑥一般介護予防事業(びんしやんクラブ)	0	
⑦地域介護予防活動支援事業	3	⑦を兼ねる自主G
⑧自主グループ (⑦を兼ねる場合は⑦で計上)	280	3
⑨訪問型介護予防事業	0	
⑩オレンジカフェ運営	4	
⑪その他	3	
合 計	309	

※①～⑤⑪は「活動報告書」

⑥⑦は「地域介護予防活動実施報告」

⑧⑩は各種報告書を添付すること

5 広報活動等

(単位:回数・枚数)

①センターの広報	0	0
②権利擁護に係る広報	0	0
③交通安全アドバイス	1	20
④介護予防の普及・啓発	2	50
⑤その他	2	62
合 計	5	132

4 会議等への参加

(単位:回)		
①介護保険サービス担当者会議	0	
②地域関係者主催の会議	0	
③市主催地域ケア会議	12	
④地域密着型運営推進会議	0	
⑤権利擁護に係る会議	4	
⑥介護予防事業関係	17	
⑦その他	69	
合 計	102	

※活動報告書を添付すること。

16.あんしんセーフティネット事業報告

令和3年度のふじみ野市内の方の支援は1件だった。件数が少なくなった要因として、低所得者や失業者の方は、新型コロナウィルス関係の貸付け等の利用。生計の見通しがつかない方については、生活保護制度を利用したことが考えられる。

近隣の市町村で支援該当者があり、相談者が居住している市町村の会員施設相談員が、コロナの影響により支援に出ることが困難状況であったため、マザーアースが対応した件数が2件あった。

令和3年度 サテライト事業活動 報告

入居者の受け入れ状況

	令和3年												令和4年			
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
要介護3	0	5	8	8	8	9	9	8	8	9	9	9	9	9	9	9
要介護4	1	5	5	7	7	8	7	8	8	7	7	7	7	7	7	7
要介護5	0	1	1	1	2	2	2	3	3	2	3	3	3	3	3	3
小計	1	11	14	16	17	19	18	19	19	18	19	19	19	19	19	19
新規	1	10	4	2	2	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
終了	0	1	2	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

・介護業務

始めてのユニットケアに戸惑いを感じながら、やっと形が少し見えてきた感じがする。現状として、1階スペースがまだ埋まってないが、いつ満床になんでも良いように、しっかりと体制を整えていきたいと思っている。

環境

センサーベッドや人感センサーを使用しながら、転倒防止に努めた。年間では数件転倒や尻もち等があったが、早期発見に繋がっている。全室個室であり、マザーアースとは全く違ったハード面に試行錯誤しながら中が見えにくいため、訪室を多くするようにした。

施設内研修

月に1～2回、職員の資質や支援技術向上・利用者支援の充実を目的とした研修を行なっている。研修を通して、利用者的人格を真に尊重する精神、職務に対する責任感、自ら進んで職務を遂行する意識の醸成を図った。

職員の資質の向上

人事考課時に各職員に目標を持たせ、資質向上に努めた。職員育成として、チューター制度を導入する事で新入職員と連携を取った。

入浴

個浴とミスト浴を併用しながら、出来るだけ意に沿った対応を考えてきた。大きな事故もなく来れたのは、良かったと思う。

排泄

皮膚を清潔に保ち、褥瘡につながる等のスキントラブルが無いように、入浴時等で全身観察を行い、褥瘡を持って入所された方も治癒することができた。
デリケートなところなので、プライバシーへの配慮も忘れず、適切な環境での排泄介助をこれからも行なっていく。

余暇活動の充実

開所当初は、なかなかペースも掴めず、業務を軌道に乗せる事を優先してきたが、やはり生活のハリというには、笑顔や楽しみが必要不可欠だという想いから、出来るだけ時間を作つて一緒に楽しめる時間を共有していきたいと思っている。

ヒヤリハット

報告・連絡・相談をしっかり行い、連携を取り情報共有を行つた。
表皮剥離・あざ等職員の介助によるケガについて、発生しやすい入居者や部位を調べ、繰り返す事の無いように対策方法を検討し、実施した。

身体拘束廃止

現在、サテライトには身体拘束を行なつてゐる方はいないが、職員には研修等で何が身体拘束に当たるのかを理解できるような環境作りを行つた。

感染症及び食中毒防止

やはり感染予防は、手洗い・うがい・換気・消毒の徹底と考え、今後も継続していきたいと思う。また、受診等で食事の時間がズレた場合も、2時間以上経ったものは出さないようにしている。

新型コロナウイルス感染症についての対策

- ・身体距離の確保
- ・マスク着用の徹底
- ・手洗いの徹底
- ・不要不急の外出を避ける
- ・手洗い、消毒は非接触型を使用する
- ・三密の回避について、職員全員に周知徹底する
- ・1ケア1手洗いまたは手指消毒の徹底
- ・1日3回の検温の実施
- ・入居者の毎日の検温とSP02測定の実施
- ・職員全員の月2回のPCR検査の実施
- ・職員・入居者全員の新型コロナワクチン3回目接種の実施
- ・体調管理と体調不良時の報告
- ・入居者の発熱時受診して、PCR検査の実施
- ・新型コロナウイルス感染症に関する情報収集と周知（掲示物や研修にて）
- ・業者など来園者の検温と手指消毒の実施
- ・オンライン面会の実施
- ・1日3回以上の換気、清掃と消毒の実施

嘱託医・協力病院との連携

回診時に日々の変化を報告して、体調不良時には嘱託医や協力病院の協力を得ながら、適切な医療につなげてきました。

今後の方向性

上記続行と体調不良時は受診または抗原検査を行う事

入院者

年月日	氏名	入院先	理由
R3 7/8～8/3 10/28～11/25 12/4～12/28	H・M	イムス三芳総合病院	肺炎
	K・S	イムス三芳総合病院	肺炎
	K・U	イムス三芳総合病院	肺炎
R4 2/4～3/3 2/24～3/3	M・K	埼玉精神神経センター	脱水、胃ろう造設
	K・U	イムス三芳総合病院	尿路感染

施設での看取り

当施設では、開所よりお亡くなりになられた方は3名で、看取り介護を行なったのは1名。

コロナ禍という事で、正直迷ったが、施設長より「ご家族との時間を大切にしてあげたい」という言葉をかけてもらったので、ゾーニングや消毒の徹底等万全の体制を取り、最期までご家族との時間を提供する事が出来た。

個室ならではの対応もできて、良かったと思う。
今後に繋げていければと思っている。

安全衛生委員会

職員のメンタルヘルスから、アンケートを取って職員全員を対象にしたストレスチェックを行った。その結果、問題のある職員はいなかった。もし、該当する職員がいれば産業医の所で、面談を行える調整を行なっている。また、職員の微妙な変化、違和感を感じ取れるように常にアンテナを張り巡らせていきたいと思う。

避難訓練について

今年度は、取り掛かりが少し遅かったため、11月と3月の2回の避難訓練となった。夜間設定という事で、現段階の宿直者と夜勤者2名体制として、行った。時間は初めてでしたが、大体12~13分かかった。防火設備の方からは、できれば10分以内が望ましいとの言葉をもらった。また、2階の避難経路についても確認したところ「建物がしっかりとしている事から、まずはベランダで救助を待つようにして下さい」との指示だった。また、なかなか消火器を使う機会もないのに、ご用意していただき、使い方のおさらいを行ない、館内の消火器の設置場所も確認した。

苦情解決第三者委員会について

- 4月 近隣の方より玄関先に置いてあったポールが道路に出ていて、車が通れなかつたとのお話あり。事実確認はできないが、まずはご迷惑をおかけしましたと謝罪をした。その後、職員の方には出社時、退社時に施設の周りの環境が整備されていないところがないかをチェックしてもらうように声掛けを行なった。
- 7月 入所されたばかりの方が発熱されるも、時期的に病院受診する事がリスキーなため、水分補給や腋下クーリング等で対応。夜間から日中にかけて熱が下がったので、様子を見ながら対応するも、その日の夜間に再度発熱されたため、ご家族に連絡をして、病院へ搬送、受診となる。ご家族より、なぜ初めに発熱した時に連絡をくれなかつたのかとの訴えあり。その後、全入居者に対して、基本的には細かいところまで報告をするように徹底している。
- 9月 行事の際に、記念写真を撮ってお送りしたところ、義歯が入っていないかった為、ものすごくお年寄りに見えて、驚いたとの訴えあり。義歯に関しては、瘦せてきたりすると、合わなくなってしまい、装着すると痛みが生じてしまうので、食事も粥に変更している方なので、通常義歯を外している事が多かった。しかし、記念写真を大切にされている方も多いので、ご本人が一番良い時に近づけてあげる事が必要だと思い、他の入居者の撮影の際も、義歯に関しては意識付けをするように徹底している。

第三者委員の方からは、「ご家族に寄り添った丁寧な対応を心掛けてください、自分の親のように接してください」という温かいお言葉をいただきました。その言葉をしっかりと胸に刻みながら、これからも処遇に勤しんでいきたいと思う。

・運営推進会議

「運営推進会議」とは、地域密着型特別養護老人ホームなどを実施する事業所において、自ら設置して、開催する事が義務づけられているものです。

会議は入居者のご家族、地域住民の代表者、市町村の職員などに対して、提供しているサービス内容等を明らかにすることにより、地域に開かれたサービスにしていく事でサービスの質の確保を図る事を目的とするものです。

この会議はおおむね2か月に1回、開催する事になっています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症により、集まって会議をする事が難しく、市役所の指示により、すべて書面での会議となりました。

令和4年度では、出来るだけ顔を見ながら、意見交換等をできればと思います。

・食事について

① 行事食の取り組みについて

9月より開始

9月20日	敬老の日	鯛めし、鯛とサーモンの造り、真鯛の塩焼き、春菊と菊花のお浸し 里芋のキノコあんかけ、ゴマ豆腐、お吸い物、日本酒のジュレ
10月31日	ハロウィン	キノコピラフ、南瓜シチュー、ぶどうジュレ、清汁
11月24日	和食の日	海鮮丼、小松菜と薄揚げの煮びたし、清汁
12月25日	クリスマス	ビーフシチュー、小松菜のガーリックソテー スペゲティサラダ、ロゼワイン風ジュレ
1月1日	お正月	筍の旨煮、焼き湯葉、しいたけ旨煮、ふき青煮、菜の花のお浸し 寿人參伊達巻、なごみ巻き（ほうれん草）、数の子、黒豆金箔乗せ 赤魚の塩焼き、紅白なます、栗きんとん、渋川甘栗甘露煮、清汁
1月15日	小正月	小豆粥、とろとろみぞれ煮、出し巻き卵 春菊の白和え、ほうじ茶プリン、清汁
2月3日	節分	カニ飯、イワシのつみれ汁、煮豆、甘酒プリン
3月3日	ひな祭り	春の彩りちらし寿し、人参とわかめの土佐煮、白桃プリン

② その他の取り組み

- ・サテライト職員と連携を取り、職員数・利用者数を正確に把握し、適正な量の発注を行う
- ・献立通りの食材が納められるように、用意する者、配送する者で二重チェックを行う
- ・検食箱の入れ替えを行い、2週間分の原材料の保管を行う
- ・週1回食品庫のチェックを行い、賞味期限と在庫管理を行う
- ・1日1回の冷蔵・冷凍庫の温度チェックを行い、機器のトラブルに気付けるようにした
- ・新しい取り組みや変更する点がある時は、グループラインを使用して、情報共有する
- ・敬老会・正月等の大きなイベントの際は、職員を派遣して食事の用意を手伝う
- ・月1回栄養会議やラウンドで情報を収集し、利用者様に合った食事の検討を行う
- ・サテライトに関する情報共有ノートを作って栄養課内で活用した

・面会について

このコロナ禍で、面会はほぼできなかった。しかし、その結果、コロナ感染予防として、現在も陽性者が出ていないという事に繋がっているのではないかと思う。

7月からオンライン面会を始めて、ご家族に元気なお姿をお見せする事が出来たのは、良かったと思う。オンライン面会は現在も継続している。

11月に一時、面会を再開する事が出来たが、またすぐ中止せざるを得ない状況になってしまったのは、残念でなりません。また、サテライトの方針として施設長より特例として、看取りの方のご家族のみ、万全の対策を行った上での面会を了承してもらっています。ご家族からも感謝のお言葉をもらっている。

一日も早く、このコロナが収束して、ご家族が気軽に面会できるようになり、安心して、外出等出来る日が来ることを祈ります。

年間の行事

6月	園芸療法 サツマイモ苗植え
8月	野菜の収穫 スイカ割り
9月	敬老会
11月	サツマイモ堀り 秋祭り
12月	クリスマス会 (ケーキ作り)
1月	お正月 (かるたとり、お手玉、坊主めくり)
2月	節分 (豆まき、恵方巻作り)
3月	ひな祭り (三色団子作り)

※ 今年度は、コロナが収束すればタイミングを計りながら買い物や外出等も検討していきたいと思っている。

広報

コロナ過で面会が出来ない事から、ご家族には不安な時間を過ごさないようにHP等を活用しながら、サテライトの紹介や施設日誌で入居者の状況等を発信した。また、月1回 お手紙を出す際にご家族に元気なお顔を見ていただく為に、毎月行事や四季折々の壁紙をバックに写真を撮り、送らせていただいている。これからも、サテライトではどのような事を行なっているかを発信していきたいと思っている。